



四国山地砂防通信

大規模土砂災害を想定した 学習型の訓練を実施！



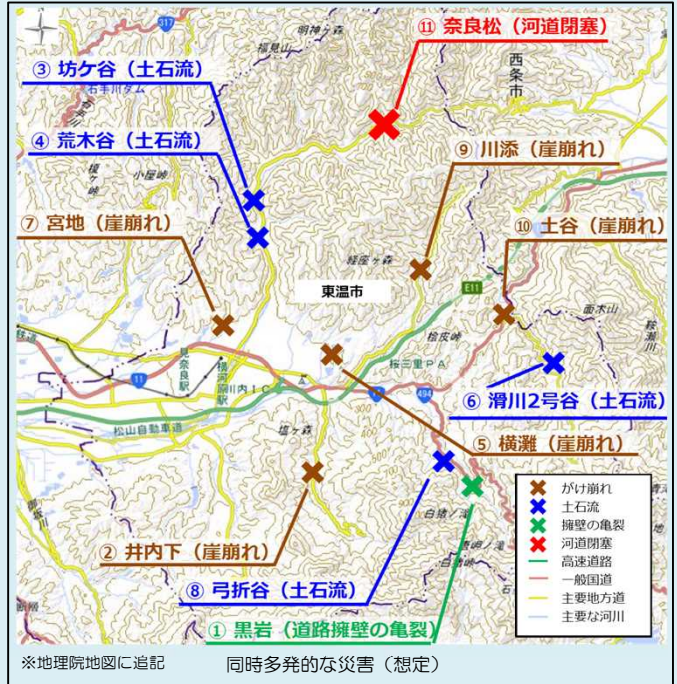
令和6年2月6日
第89号

令和6年1月30日（火）に、愛媛県東温市の中央公民館において、豪雨による同時多発的な土砂災害を想定した関係機関との合同訓練を四国山地砂防事務所と東温市の共催で実施しました。本訓練は、東温市が豪雨に襲われた場合に発生する様々な土砂災害に対して、関係機関がとるべき対応及び連携内容の確認等を主目的としており、四国地方整備局、四国山地砂防事務所、松山河川国道事務所、東温市（総務課、危機管理課、農林振興課、建設課、消防本部）、愛媛県砂防課、四国山地砂防ボランティア協会など、多様な関係機関の担当者に参加いただきました。（参加者約50名）

今回の訓練は、土砂災害を想定した「降雨対応行動ステージ」、「災害発生・初動対応ステージ」、「大規模土砂災害詳細対応ステージ」の3ステージを設定し、土砂災害に関する様々な状況を進行役が参加者に質問し、その際の行動対応等を回答頂く「学習型訓練」を採用しました。また、訓練シナリオは、河道閉塞（天然ダム）、がけ崩れ（5箇所）、土石流（4箇所）、道路擁壁の亀裂（1箇所）の発生を想定し、訓練を通じて、警戒・避難等の対応、土砂災害警戒情報の発令や被害情報の収集・共有、土砂災害防止法に基づく緊急調査や緊急対応等について、各機関の実施内容や連携・調整する内容等を確認・共有することができました。



訓練の実施状況



※地理院地図に追記 同時多発的な災害（想定）



報道
関

訓練会場の様子



野村四国山地砂防事務所



東温市
加藤東温市長

- 【訓練参加者の意見・感想】
- ・国・県・市・各機関の動きの全体像を把握し、自機関の役目を理解できた。（東温市建設課）
 - ・同時多発的に広域な範囲に発生する災害に対して、連携の大切さを実感できた。（東温市危機管理課）
 - ・実践経験がない災害の一連の流れを訓練することで対応への理解が深まった。（四国地方整備局）
 - ・他機関の対応から自機関の対応方針について得た知識を整理して実際の災害時に活用したい。（四国山地砂防事務所）
 - ・様々な関係機関が参加したことで自機関の支援内容、連携先を確認できて良かった。（松山河川国道事務所）
 - ・対応を発言する学習型訓練は災害を我が事と考える貴重な機会であったと考える。（四国山地砂防ボランティア協会）

